

第2回丘珠空港機能強化検討会 議事概要

日 時：令和5年4月17日（月）14：30～16：00

場 所：TKP札幌カンファレンスセンター ホール6A

出席者：委員19名、札幌市（事務局）4名、オブザーバー2名

1 開会

(1) 挨拶（札幌市 吉岡副市長）

- ・ 防衛省の皆様におかれましては、今月6日に陸上自衛隊のヘリが宮古島で消息を絶った事故につきまして、現時点で隊員2名の死亡が確認されたとのことで、お悔やみ申し上げるとともに、残りの隊員の方々が一日も早くご家族の元に帰られることを心からお祈り申し上げます。
- ・ 札幌市では昨年11月に「丘珠空港の将来像」を策定し、国土交通省と防衛省に対し、将来像実現に向けた要望をさせていただいたところ。
- ・ 当検討会において、滑走路延伸を含む各種機能強化に必要な議論をさせていただき、早期事業化に向けた検討を進めさせていただきたいと考えているため、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

2 議事

(1) 検討事項

① 今後の増便に伴う対応

- ・ 将来像において、滑走路延伸後には70便程度／日を想定しているが、現行の1,500mにおいても発着便数が増え、現在の運用の発着枠を超えることが見込まれている。
- ・ 今後の増便を見据えると、ピーク時の発着便数を増やすことなど、発着枠の議論について先行して調整が必要と考える。
- ・ 札幌市の要望や前回の検討会での議論も踏まえて、関係者で具体的な話を進めているところ。
- ・ 今年10月から11月に見込まれる一時的な増便であれば、除雪や管制業務への影響はあまりないものとする。
- ・ 陸上自衛隊の訓練については、現状、民航機の離発着の際に自衛隊ヘリを接地待機させており、増便に伴う影響はあると考える。
- ・ 陸上自衛隊の運用への影響を少なくするとともに、空港施設の運用面においてもピーク時の分散が必要と考えており、ダイヤの設定について柔軟に調整していきたい。
- ・ 今後、ダイヤの調整による訓練時間との住み分けや訓練場所の確保など様々な方策を検討していきたい。
- ・ それぞれの立場から出る意見を調整し、解決に向けて段階的に整理していきたい。

② 空港運用時間拡大による効果及び課題

- ・ 朝は早く、夜は遅い時間帯の拡大ということもあり、地域住民対応など、慎重な対応を考えていく必要がある。
- ・ 運用時間拡大には時間が掛かりすぐに増便に対応できるものではないが、早めの検討が必要。
- ・ 運用時間の拡大に対応するためには、除雪・管制体制について検討が必要。

③ 滑走路延伸前・延伸後における除雪体制の課題

- ・ 除雪作業は、陸上自衛隊が滑走路・第1誘導路・自衛隊駐機場を行っており、国土交通省東京航空局が民間委託により民航機駐機場と第2誘導路を行っている。
- ・ 国交省航空局が陸上自衛隊の除雪機材更新を行っているが、除雪機材の老朽化が進んでいる。
- ・ 滑走路延伸により、除雪面積が約1.2倍に増えるため、除雪体制への影響が懸念される。
- ・ 滑走路延伸の計画と除雪体制の確保はセットで考えなければならない。
- ・ 他空港と比較すると、現状でも除雪時間が長いと感じるため、滑走路延伸に向けては、除雪作業時間の短縮化の検討が必要。

④ 空港ターミナルビル機能強化

- ・ 国土交通省所管の空港敷地には限りがあるため、将来像においてはターミナルビルや駐車場は現在位置での拡張を想定している。
- ・ 空港敷地の拡張で空港緑地を活用することも想定しているが、空港緑地が持つ緩衝機能やレクリエーション機能などはできる限り確保したい。
- ・ 空港周辺の活性化のために、空港の北東側の土地も含めて丘珠駐屯地やターミナルの配置を検討してほしいとの声が地域住民から出ている。地域住民の空港機能強化への期待を踏まえた配置検討も必要ではないか。
- ・ 国土交通省所管区域内でターミナルビルや駐機場等をどのように拡張していくか、必要規模を踏まえて再配置の検討が必要。
- ・ ターミナルビルについては、利用者の増加を見据え、スポットの位置やアクセスの強化、駐車場の拡張などについて検討が必要。
- ・ 空港施設の検討においては、スマート化や省人化などの取組についても検討が必要。

<全体を通して>

- ・ 短期的・長期的な課題を整理し、機能強化の効果が最大限発揮できるよう議論していきたい。

(2) その他

<次回会議の開催について>

- ・ 第3回会議の開催について、札幌市内で開催する方向で別途調整。

以上